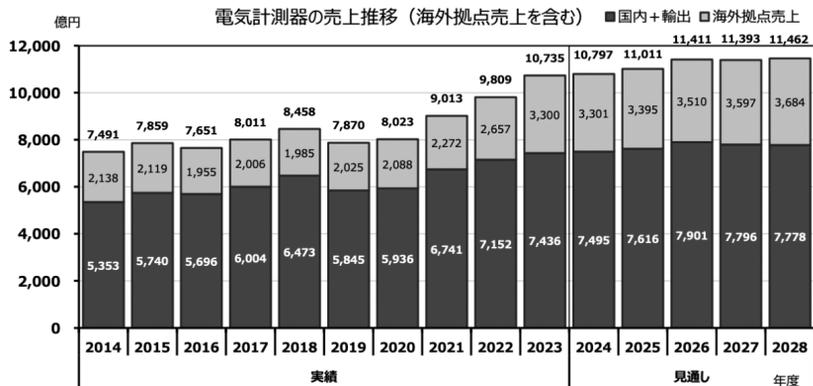


JEMIMA「2024~28年度電気計測器中期見通し」



日本電気計測器工業会(JEMIMA)は、2024~28年度の電気計測器の中期見通しを発表した。23年度の海外拠点の売り上げを「国内売上+輸出+海外拠点売上」は、前年度比9.4%増の1兆735億円となり、過去10年ではじめて、水門を越えた。24年度以降も成長を続け、28年度には1兆462億円になると予測している。

国内+輸出+海外拠点 売上1兆円突破 成長率1.5%で拡大予測

海外拠点の売り上げも「国内売上+輸出+海外拠点売上」は日本の電気計測器全体の規模を示し、23年度は1兆735億円(9.4%増)となった。10年前の14年度は700億円弱で、そこから下はあり平均成長率は1.5%で

「国内売上+輸出」は、23年度は4,081億円(7.4%増)で、前年から84億円増加となった。24年度は、経済の落ちつき、為替の不透明感により749.5億円(0.8%増)のほぼ横ばい、25年度以降は、電力計測の需要とAI関連産業の増加要因の

「国内売上+輸出」は、23年度は4,081億円(7.4%増)で、前年から84億円増加となった。24年度は、経済の落ちつき、為替の不透明感により749.5億円(0.8%増)のほぼ横ばい、25年度以降は、電力計測の需要とAI関連産業の増加要因の

「国内売上+輸出」は、23年度は4,081億円(7.4%増)で、前年から84億円増加となった。24年度は、経済の落ちつき、為替の不透明感により749.5億円(0.8%増)のほぼ横ばい、25年度以降は、電力計測の需要とAI関連産業の増加要因の

「国内売上+輸出」は、23年度は4,081億円(7.4%増)で、前年から84億円増加となった。24年度は、経済の落ちつき、為替の不透明感により749.5億円(0.8%増)のほぼ横ばい、25年度以降は、電力計測の需要とAI関連産業の増加要因の

「国内売上+輸出」は、23年度は4,081億円(7.4%増)で、前年から84億円増加となった。24年度は、経済の落ちつき、為替の不透明感により749.5億円(0.8%増)のほぼ横ばい、25年度以降は、電力計測の需要とAI関連産業の増加要因の

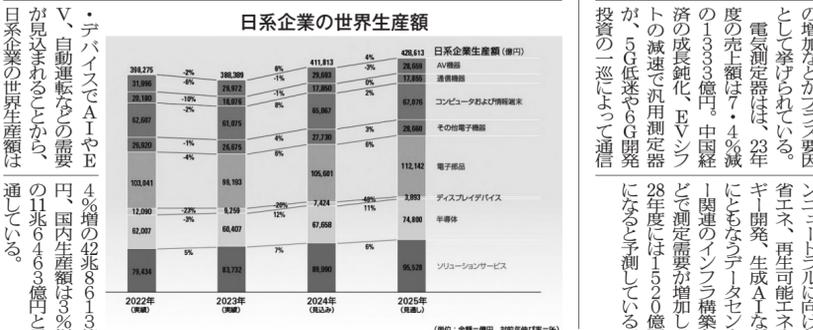
「国内売上+輸出」は、23年度は4,081億円(7.4%増)で、前年から84億円増加となった。24年度は、経済の落ちつき、為替の不透明感により749.5億円(0.8%増)のほぼ横ばい、25年度以降は、電力計測の需要とAI関連産業の増加要因の

「国内売上+輸出」は、23年度は4,081億円(7.4%増)で、前年から84億円増加となった。24年度は、経済の落ちつき、為替の不透明感により749.5億円(0.8%増)のほぼ横ばい、25年度以降は、電力計測の需要とAI関連産業の増加要因の

「国内売上+輸出」は、23年度は4,081億円(7.4%増)で、前年から84億円増加となった。24年度は、経済の落ちつき、為替の不透明感により749.5億円(0.8%増)のほぼ横ばい、25年度以降は、電力計測の需要とAI関連産業の増加要因の

JEMIMA「電子情報産業世界生産見通し」 25年に3兆999億ドル DXやAI関連後押し

電子情報技術産業協会(JEMIMA)は、電子情報産業の世界生産見通しを発表し、2024年の世界生産額が前年比9%増の3兆999億ドル(約56兆円)を見込み、25年には8%増の3兆999億ドルに拡大する見通しを示した。24年は、コロナ特需の反動で減速していた電子情報産業の回復が、25年には、DXやAI関連産業の成長が後押しする見込みと見られる。



「国内売上+輸出」は、23年度は4,081億円(7.4%増)で、前年から84億円増加となった。24年度は、経済の落ちつき、為替の不透明感により749.5億円(0.8%増)のほぼ横ばい、25年度以降は、電力計測の需要とAI関連産業の増加要因の

「国内売上+輸出」は、23年度は4,081億円(7.4%増)で、前年から84億円増加となった。24年度は、経済の落ちつき、為替の不透明感により749.5億円(0.8%増)のほぼ横ばい、25年度以降は、電力計測の需要とAI関連産業の増加要因の

「国内売上+輸出」は、23年度は4,081億円(7.4%増)で、前年から84億円増加となった。24年度は、経済の落ちつき、為替の不透明感により749.5億円(0.8%増)のほぼ横ばい、25年度以降は、電力計測の需要とAI関連産業の増加要因の

令和の販売員心得

黒川 想介

F/A販売員が、またなじみのない顧客を訪問した際、再び聞きたい旨を伝えるとよく言われるのが「何か面白い情報があれば」という言葉だ。これを真面目に考えて、次の訪問のアポを取れるような商品を紹介したいのか、と悩むF/A販売員も多い。

自分から身構えずに弱点見せ話題を作り出すことが有効だ

なかなか身構えを崩さない。F/A販売の大半は文系出身であり、それに対しては「営業は営業として、技術は技術として」という意識が強い。しかし、顧客が興味を持てない商品はないか探る。続けること

「国内売上+輸出」は、23年度は4,081億円(7.4%増)で、前年から84億円増加となった。24年度は、経済の落ちつき、為替の不透明感により749.5億円(0.8%増)のほぼ横ばい、25年度以降は、電力計測の需要とAI関連産業の増加要因の

「国内売上+輸出」は、23年度は4,081億円(7.4%増)で、前年から84億円増加となった。24年度は、経済の落ちつき、為替の不透明感により749.5億円(0.8%増)のほぼ横ばい、25年度以降は、電力計測の需要とAI関連産業の増加要因の

「国内売上+輸出」は、23年度は4,081億円(7.4%増)で、前年から84億円増加となった。24年度は、経済の落ちつき、為替の不透明感により749.5億円(0.8%増)のほぼ横ばい、25年度以降は、電力計測の需要とAI関連産業の増加要因の

「国内売上+輸出」は、23年度は4,081億円(7.4%増)で、前年から84億円増加となった。24年度は、経済の落ちつき、為替の不透明感により749.5億円(0.8%増)のほぼ横ばい、25年度以降は、電力計測の需要とAI関連産業の増加要因の

azbil
あすみる、アズビル。
オートメーションで未来を描く
アズビル株式会社

IIIFESまであと1年 来場者目線で楽しませる工夫を

「先ず、セミナー、セッションが東京ビックサイトで行われ、盛況のうちに閉幕した。現在、半導体市場は回復途上にあるが、新工場や国内化などの話題性もあって業界内外から多くの人が来場した。一方で、実業展示がないという声も多かった。来場者が肩透かしを食ったと指摘する声もあった。展示会ならではの工夫が求められる。展示会ならではの工夫が求められる。展示会ならではの工夫が求められる。

灯台

先ず、セミナー、セッションが東京ビックサイトで行われ、盛況のうちに閉幕した。現在、半導体市場は回復途上にあるが、新工場や国内化などの話題性もあって業界内外から多くの人が来場した。一方で、実業展示がないという声も多かった。来場者が肩透かしを食ったと指摘する声もあった。展示会ならではの工夫が求められる。展示会ならではの工夫が求められる。展示会ならではの工夫が求められる。

Power Reliability 安心24ソリューション DC電源安定供給!

SPD 電力計測
スイッチング電源
UPS
電子式サーキットブレーカ

DINレール用電源エントリーモデル
ESSENTIAL2 Powerをクイントマンが4コマ漫画で紹介!



見込顧客の創出
BtoB企業専門のマーケティング支援
株式会社メイテンス

Electronics Solutions Company
KANADEN
株式会社カナデン

生産設備の予知保全をIoTで効率化
https://lp.sukkha.net/info@sukkha.net
SUKKHA

この技術が、世界を変える。
この技術で、未来を変える。
change the world. for the future.
HOKUYO
https://www.hokuyo-out.co.jp/

FA業界掲示板

オートメーション新聞WEB URL付き記事はこちらから→<https://www.automation-news.jp/category/topics/>

■三菱電機、FA採用事例に三菱地所の三田国際ビルでの電力量導入と検針作業の効率化事例を公開

三菱電機は、同社のFA製品・サービスの採用事例に、三菱地所の三田国際ビルでのモバイル検針対応の電力量導入による検針作業の効率化の事例を公開した。

三菱地所は、管理するビルに無線通信を使用した「モバイル検針」対応の電力量計を導入し、各テナントの電気使用量に関する検針作業の効率化を進めている。東京都港区の三田国際ビルでは、導入によって省力化と作業ミス防止が進み、業務効率化が大幅に向上。同時に、電気使用量の情報をクラウドで管理するサービスと組み合わせることで、電力量計の検定有効期限切れ対策でも効果を上げている。



■三菱電機、FA Web Shop会員登録キャンペーンを実施中。期間中の会員登録でプレゼント

三菱電機は、同社のECサイトである「FA Web Shop」について、会員登録キャンペーンを実施している。2025年3月7日までに会員登録をすると、抽選で100人にオリジナルクッキーをプレゼントしている。

FA Web Shopは、小口や緊急での注文対応に加え、サービスやトレーニングスクールなども購入できる。定期的に取扱製品・サービスは増加しており、10月1日には、ハードウェアとしてMELSEC iQ-Fシリーズ各種ユニット82製品、駆動機器インバータFREQROL7製品、FREQROL-Aシリーズ7製品、低圧配電制御機器45製品、低圧遮断器43製品、電力管理計器2製品が追加された。

■三菱電機、東日本FAソリューションセンターで「リモートとリニューアルで実現する効率的な生産現場」企画展示を実施中

三菱電機は、東京・秋葉原の東日本FAソリューションセンターで、「リモートとリニューアルで実現する効率的な生産現場」をテーマとしたパートナーソリューションの企画展示を実施している。期間は5月30日まで。

未来のためのIoT
イーサネットの
未来のためのIoT
METZ CONNECT
We realize ideas
国内販売輸入総代理店
Rinsconnect 株式会社リンスコネク

ネットワークカメラによる設備のリモート監視やセンサの保全や断線検知のリモート監視、表示灯から信号検知、低コストなリモート稼働監視、限られた時間でのPLCリニューアルや既存ネットワークを新規ネットワークで制御する段階的リニューアルなど、最新

のリモートソリューションとリニューアル関連製品を紹介している。

■オムロン、レーザ変位センサ「ZP-Lシリーズ」特設サイト公開。安定検出と使い勝手を極めた新製品

オムロンは、12月に発売を開始した、安定検出と使い勝手を極めたレーザ変位センサの新製品「ZP-Lシリーズ」について、製品の特長や採用メリットを紹介する特設サイトを公開した。

同製品は、「すべての忙しいエンジニアのために」をコンセプトに、初期設定のまま、で安定検出できるという使い勝手の実現、高さ測定、傾き検出、位置決めなどに対して、10μm～1mm程度の判別用途に幅広く対応できる万能センサ、レーザ変位センサでありながら低価格などの特長を有しており、特設サイトではそれらを詳しく説明している。



■安川電機、技術論文「PMSMトルク制御精度向上のための誘起電圧定数およびq軸インダクタンスのオンライン推定技術」公開

安川電機は、技術論文「PMSMトルク制御精度向上のための誘起電圧定数およびq軸インダクタンスのオンライン推定技術」を公開した。

近年はオイル&ガス産業や電気自動車などのモータドライブシステムではモータの小型化が要求されており、PMモータは小型かつ高効率のため、小型化の要求に応えるが、トルク精度が悪化しやすいという課題がある。

同論文では、PMモータの誘起電圧定数およびq軸インダクタンスをオンライン推定することによってトルク制御精度を改善した技術について解説している。

■北陽電機とLightICテクノロジーズ、次世代産業用LiDARセンサーの共同開発で提携

北陽電機とLightICテクノロジーズは、次世代の産業用アプリケーション向けにカスタマイズされた高度な周波数変調連続波(FMCW) LiDARセンサーの共同開発に向けて業務提携した。

LightICのFMCW LiDARテクノロジーは、従来の飛行時間型(ToF) LiDARシステムとは異なり、周波数変調の原理を採用し、高精度の距離測定、直接速度検出、多様な環境条件で優れたパフォーマンスなど、これまでにない精度、堅牢性、長期信頼性を実現している。

今回の提携によってLightICの革新的なFMCW技術と、センサー設計と製造における北陽電機の伝統を統合し、産業用センシングを再定義するソリューションの提供を進める。

共同開発するFMCW LiDARセンサーは、AGV/AMRシステム向けの正確なナビゲーションと障害物検出、サービスロボットにおける動的な環境での運用



の信頼性向上、安全性とセキュリティのソリューション向けにリアルタイムで正確な状況認識、産業オートメーション向けに高精度のセンシングを実現する。

■ロックウェル・オートメーション、福島県白河市の住友ゴム工業白河工場にMESを実装

ロックウェル・オートメーションの製造実行システム(MES)「FactoryTalk ProductionCentre(ファクトリートークプロダクションセンター)」が、住友ゴム工業の白河工場に採用された。まずは日本国内で最大規模である白河工場(福島県白河市)から実装を開始し、来年度2025年に稼働を開始。その後、2026年末の効果検証を経て、標準化の上、国内外工場への展開を進める。

住友ゴム工業は、少量多品種生産体制のため人への依存が高く、現場担当者が持つ生産計画ノウハウの共有や効率改善、製造拠点のデータ標準化を課題としており、2019年からPTCとIoTプラットフォームの導入/アプリケーション開発を進め、現在国内全4工場と海外5工場稼働している。さらなるDXとしてIoTプラットフォームとERP連携を目指し、今回のMES「FactoryTalk ProductionCentre」の実装を決定した。

■島津製作所、分析機器の国内販売強化に向けグループ会社2社を統合

島津製作所は、2025年4月1日でグループの販売会社である島津サイエンス東日本と島津サイエンス西日本を統合して「島津サイエンス株式会社」とし、分析機器の国内販売を強化する。

島津サイエンスは、島津製作所100%出資による分析機器の国内販売会社となり、本社は東京都台東区に置く。社員数は約300人。事業所は、東京、西東京、横浜、殿町、藤沢、千葉、市原、柏、つくば、埼玉、宇都宮、群馬、新潟、上越、柏ラボ、大阪、名古屋、和歌山、神戸、刈谷、奈良、岐阜、新居浜、京都、山口。

■DICと日立、合成樹脂製造プラント運転自動化するデジタルツイン技術を実用化。1月に稼働開始

DICと日立製作所は、合成樹脂製造プラントの運転自動化を図るデジタルツイン技術として、統計分析などを活用したインフォマティクス手法により製造条件を最適化する「プロセス・インフォマティクス」を活用したシステムを実用化した。2025年1月からDICの国内プラントで本格稼働を開始する。

これまでプラントの現場では、サンプリングした製品の状態や品質を確認・監視しながら、熟練者がDCS操作値の補正や追加操作により反応を制御していた。それに対し同システムは、AIなどを用いた反応予測モデルによってサイバー空間上にプラントの運転状況を再現し、プロセス・インフォマティクスの活用で、目標とする品質値に向けた調整タイミングや投入量を決めるための最適な運転条件を導き出し、それらをフィジカル空間である現場にフィードバックする。これにより、現場でのサンプリング確認回数の削減、品質の安定化、作業員の作業効率向上、新製品導

入時の立ち上げ期間短縮に寄与し、現場の負担軽減と生産性向上を実現する。

■山洋電気、仙台支店を移転

山洋電気は、東北エリアでの営業・サービス体制の強化に向け、2025年1月6日から仙台支店を移転する。新住所は〒980-0021宮城県仙台市青葉区中央4-4-19。電話番号は022-224-5491。

■フジコン、ASKULで製品販売を開始

フジコンは、アスクルが運営する通販サイト「ASKUL」で製品販売を開始した。販売する製品は基板端子(62種類)、ショートピース(18種類)、トランジスタクリップ(10種類)、ヒューズクリップ(3種類)、タブ(5種類)、絶縁ブッシング(1種類)、アースラグ(1種類)。出荷は注文から3営業日以内の配送となる。

■岩崎電気、東京・品川でプライベート展を開催。約800社1800人が来場

岩崎電気は、12月4・5日の2日間、東京・品川の品川インナーシティでプライベート展「IWASAKI技術展」を開催し、2日間で約800社1800人が来場した。

展示会では、次世代エネルギーに関する技術研究、照明の演出や制御技術、従来技術と新技術とのコネクテッドで付加価値を創造する技術、防災・減災への提案、殺菌技術による衛生環境への提案など4つのテーマで新技術開発を紹介した。

イベントキャンペーン

■富士電機機器制御、2025年2月28日に福岡で新形電磁開閉器SC-NEXT発売記念プライベート展を開催

富士電機機器制御は、2025年2月28日に福岡市中央区のTKPガーデンシティPREMIUM天神スカイホールで、プライベート展示会「新形電磁開閉器SC-NEXT発売記念富士電機機器制御プライベート展〜盤の未来を考える強い製造現場の実現に向けて〜」を開催する。



同展は6月の吹上事業所での開催を皮切りに、大阪、名古屋で開催し、予定を大幅に超える来場を記録した人気イベント。福岡会場も8月に予定していたが、台風接近の影響で延期となっており、今回はそのリベンジ開催となる。

会場では、新形電磁開閉器SC-NEXTをはじめ、盤製作における生産性向上として盤の設計、製造プロセスをよりスマートに、作業品質を高めるためのコンポーネントから装置・ソフトウェアまでの展示、次世代制御盤、CO₂の見える化などカーボンフットプリントの対応支援、海外規格(SCCR)に適合した盤内機器の展示、受配電リニューアルなどを展示するほか、これらの関連セミナーも実施する予定となっている。

簡単・高速・広帯域

LTE&5G対応メッシュWi-Fi産業用ルーター

- ・ ローカル5G
- ・ 産業自動化
- ・ IIoT



by BlackBear TechHive

BlackBear TechHive Japan株式会社
〒東京都千代田区丸の内1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー3F
☎ 03-4530-3390 ◎ www.atoponline.com/ja



BlackBear Cyber Security by BlackBear TechHive

BlackBear TechHive Japan株式会社

東京都千代田区丸の内1-1-3
日本生命丸の内ガーデンタワー3F
03-4530-3390

産業用データダイオード- BIG9000



Your Security is Our Duty

OTサイバーセキュリティのための
堅牢なハードウェアソリューション



www.blackbear-ics.com/ja

